

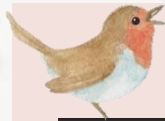
重度障がい児支援 花色

vol.43

2024. 3. 8

NEWS LETTER

地域交流活動



こども園 末広

こまどりさん



こんにちは！3月に入り、春らしくなってきたなと思った途端に吹雪と大雪です。なかなか冬が抜けきらない旭川ですが、日も長くなり春にむけて気持ちは軽くなります。

さて、2月27日旭川市内の“こども園 末広こまどり”さんに交流の機会をいただき行ってきました。

こまどりさんのこども達は、元気で明るく、先生のお話もしっかり聞いてました。玄関では敬礼をしてお出迎えしてくれました。「皆さん、ありがとうございます！」

花色からは6歳のゆめちゃんと、4歳のれんくんが交流活動に参加！お友達がいっぱいいるこども園。ドキドキしているのが伝わってきます。緊張しながらも、泣かずにお友達と一緒に歌えたゆめちゃん。自己紹介の時に、グーンと身体を伸ばしてご挨拶をしたれんくん。お友達の声にしっかり応えようと頑張り、最後には楽しんでいる表情もみられました。



改めて、こどもがこどもの中で過ごし成長することの大切さを肌で感じました。

この度の交流活動、それぞれのご両親も心配に思いながら送り出してくれたと思います。“初めて”って、どんなことも勇気がいりますよね。

こまどりさんのこども達は、花色のお友達のバギー(車いす)や人工呼吸器等に、「さわらないよ。お友達のだもん。」と見守ってくれました。その中に、お口に入っている唾液を吸う“持続吸引機”のチューブをじ〜っと心配そうに見ていた子がいました。「歯が痛い？」と声をかけてくれたので、歯医者さんの機械に見えたのかもしれない。「ツバをこっくりって出来ないかわりに、この機会が吸ってくれているんだよ。」と伝えると、真剣な表情で「大事なものだね。」とつぶやいて受け止めてくれました。

こどもにとって、毎日の暮らしの中のその一瞬に、どんな体験をするのか。どんな人に出会うのか。どんな風に感じ興味をもつのか。その、“日々の経験”をじっくり蓄えることが大切で、それをもとに自分で考えて行動したり、思いやったりを学び、グングン身体も心も成長発達していきます。

今回の交流活動を通して、“お互いを大事に思いあうこと”の一歩になってくれていたら嬉しいです。それぞれの保護者様、こまどりさんの園長先生他、先生皆様。実行してくれた花色のスタッフ。「こども達に素敵な出会いの機会をつくってくれて、ありがとうございます。」



今までいっぱい「ありがとう」



～花色のお友達 ご家族様～
夫の仕事の都合で札幌に転勤となり、花色を退職することになりました。約1年間という短い期間でしたが、花色のお友達の成長を感じ、色々な表情に癒され、私にとってかけがえのない時間でした。ご家族の皆様にも温かく迎えて頂き、有難かったです。

またいつか、花色のお友達、ご家族の皆様にお会いできる日を楽しみにしております。皆様の幸せを心よりお祈り申し上げます。お世話になりました。ありがとうございました。 看護師 あやねより



令和3年にきてくれた看護師の郁ちゃん 3月で花色を離れ 4月からは、旭川市役所にできる医療的ケア児等総合相談室(仮名)で、医ケア児のコーディネート支援に入ることになりました。「経験豊かな郁ちゃん、これからも宜しくね。」

花色スタッフの風景



3月7日 月に一度の“ポジショニング”等の実技練習



重度障がい児支援 花色
NEWS LETTER

vol.43

2024. 3. 8



“お雛様の製作”をして、“雛あられをお雛様とお内裏様に食べさせるゲーム”をしました



おお〜!



かわいい
でしょ〜



着物の柄は
まかせて〜



カッコイイ



ほくのお雛様



ほく..
似合っちゃう
んです。



ひし餅



上手でしょう



じー



できたよ〜



テファリキ Te Whariki



「糸」という中島みゆきさんの有名な歌がありますね。♪ 縦の糸と横の糸 ♪の歌詞です。ニュージーランドのマオリ語で、縦と横に織り込まれた布を【テファリキ】といいます。そして、その言葉【テファリキ】がニュージーランドの幼児教育指針の形としてあります。これが素敵なんです。世界幼児教育 世界母親指標2021で、4位に入ったニュージーランドの幼児教育の一部(5要素)をご紹介します。

- ①「幸福」子どもが健康で幸せと感じる環境になっているかな。
- ②「探求」体験を通して伸びていこう。
- ③「所属」家族や地域コミュニティで、仲間意識に関心を持ち課題を探していこう。
- ④「貢献」子ども一人ひとりに価値があります。社会は守り、応える責任があるよ。
- ⑤「コミュニケーション」自分の文化を理解して、他者の文化も受入れて、助け合いコミュニケーションを深めようよ。



日本は、一定の枠組みの中で育ちます。それが日本文化でもあり、メリットもあります。学力の向上や、一定の秩序を保つ土台にもなっていると考えます。

私の娘は、北海道のニセコという地区で育ちました。そこは、多国籍の人が大勢住んでいます。オーストラリア・アメリカ・カナダ・フランス・インド・ニュージーランド等からの移住者が多い町です。小学校の授業でも、みんなが自由に発言していました。そして納得して授業が終わる。という形が根付いていました。(算数の文章問題の“文章”にまで意見を伝え合うんですよ。)その姿をみた時に、[自由]なだけではなく[生き生きとしている]と感じました。【思っていることを言ってみよう】【やりたい事があるなら誰かの力を借りてもやってみよう】【もし思いと違う事でも興味をもって聞いてみよう。】そんな雰囲気、仲間意識も強かったと思います。～インクルーシブ社会。様々な教育や文化を上手に取り入れることも一つと私は考えています。

